

漢長
(趙長
趙長
趙長)
第一
漢令

書
以
附
誌

議事録 午後四時 白己 一 方 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

議長本堂より之を退けし移るや今議院
議院より退けし

長國藩下 汝々本安ありや云 況命と移るる宣ふ

第二卷

芥七有(井之田) 記念の両名共元親
 池より安井村より成すト求フ
 伯トス方川トス

議長 七箇説之付掃破也之全今
致彼五説一通可決

議長國書議士ト認メテ流令の國ヲテ流令
中議一面破中テ旨ヲ宣フ
知ハル迄認令諮問ハ件

張長 (張之長)

書記朗讀

金令一私記同安通記堂金意

漢長皇_二_三提出漢案_レ合_レ漢_了ニナル_レ方_ガ

組長 関分 3 宣 3

平時午正零時十分

たのふ漢、臨まふ録、漢長漢、多た、田書、名、
昭和二年三月七日

漢長
組令長

十舟退藏

議

田正志

古谷孝之郎

議案第一號
福生村熊川村組合及福生村五箇村之數割條例別
紙一通定ムルモトス
昭和二年三月七日提出

西多摩郡福生村熊川村組合長森田退藏

議案

伊東市
吉田忠治郎
井上長吉
村長
壽安
石川
田村八郎
田村彌三郎
秋心左右

福壽組合及福生村並鏡川村の敷割條例

第一條 福生村鏡川村組合及福生村並鏡川村ハ特別税

ノ敷割ヲ本條例ニ依リ賦課スルコトヲ得

第一條 敷割ハカク増コル者又ハカク増コラレモ独立生

計ヲ營ム者ニシテ賦課ス

第三條 敷割ハ毎年四月一日現在ノ納税義務者ニ賦課

シ其ノ賦課額ハ所得額及資産ノ状況ニ依リ組合會

ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

賦課期日後納税義務ノ發生セタル者ニ対スル賦課額

ハ前項ニ依リ定マリタル他ノ納税義務者ノ賦課額ニ比

準ニ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム但シ他種成りゆきナキ

第四條 敷割ノ課税期間ハ之ヲ二期ニ区分シ毎年度四

月一日ヨリ九月三十日まで第一期十月一日ヨリ翌年三月三

十日迄第二期トシ毎期半額ノ半額ヲ納セシム
第五條 追加賦課ニ係ルヤ割割ハ其ノ徴收期月日現
在ノ納税義務者ニ対シ既ニ定マリタル各納税義務
者ノ賦課額ニ比準シテ組合長ノ定ム但シ組合會
ニ此テ別ニ定メタルトキハ此ノ限ニマラス

第六條 割割總額中納税義務者ノ資産状況ニ依リ
算定シ賦課シ得ル額ハ当分ノ間割割總額ノ十分
ノ四以内トス

第七條 左ニ掲クル者ニ対シハ割割ヲ賦課セズ
一 學生生徒ニシテ修業ノ為學校若クハ他家ニ寄寓
スル者
二 産權主ト同居ノ産權人等
三 現ニ三ヶ月以上公費補助ヲ受クル者

第八條 割割納税義務者ハ毎季四月末日迄ニ組合
長ノ定ム所ニ依リ割割賦課額算定ニ必要ナル
事項ヲ提出スル
賦課期日後納税義務者ハ前項ニ準シ十四日
以内ニ之ヲ提出スル

第九條 地方税ニ関スル法律施行規則第三十四條ニ依ル
所得額ノ控除ヲ受ケントスル者ハ其ノ事由ヨリ具シ前條ノ
期日迄ニ之ヲ組合長ニ申請スベシ

第十條 詐偽其他不正ノ行為ニ依リ割割ヲ逋脱シタル
者ニ対シハ逋脱シタル金額ノ三倍ニ相当スル金額ノ過料ヲ
科ス
前項逋脱シタル金額五口未満ナルトキハ五口ノ過料ヲ
科ス

199

東京府西多摩郡福生村熊川村組合役場
此より第八條ノ旨出コト爲ササル者ニ付シテハ五日以内ノ過
料ヲ科スルコトアルベシ

附則

本條例ハ昭和二年度分ヨリ之ヲ施行ス

議案第二號

西多摩郡福生村熊川村組合手数料徴收ニ関スル條例
改正一件

大正十五年十月十二日許可ニ係ル福生村熊川村組合手数料
徴收ニ関スル條例ヲ別紙ノ通改正スルモノトス

理由 従来設定セル條例第一條第一項中「公文簿」兩下附ハ
誤當ナキ爲削除シ「公文簿、公文書、回面」ニ關スル証
明及謄本、抄本ノ手数料並公文書兩下附手数料
料ヲ設定セザリシ爲改正ノ必要ヲ認メタルニ依ル

昭和二年三月七日提出

西多摩郡福生村熊川村組合長森田退藏

[Faint blue ink bleed-through from the reverse side of the page]

西多摩郡福生村熊川村組合手数料徴収ニ関スル條例

第一條 第一項中抄本、下附及、下、公簿、ヲ削リ三冊

次ニ四冊ニ五冊ニ六冊ニ加ヘ從來ニ四冊

ヲ七冊ニ改ム

四、公簿、公文書、四冊ニ関スル証明 一件、金十五銭

五、公簿、公文書、四冊、謄本抄本 一件、金十五銭

但し原本一枚ヲ以テ一件トス 一枚ニ滿タザル場合亦同シ土地、四

冊ニマリテハ美濃紙一枚迄、面積ヲ以テ一件トス

六、公文書、一冊、下附 一件、金十五銭

但し原本一枚ヲ以テ一件トス 一枚ニ滿タザル場合亦同シ添作、一

冊ニマリテハ美濃紙一枚迄、面積ヲ以テ一件トス

議案第三種

熊川驛小學校々舍附屬家新築工事設計変更、件

熊川驛小學校々舍附屬家新築工事、儀ハ大正十五年三月十日
當組合會、議決ヲ經テ、同年三月十日知事、認可ヲ經タルモ、前
設計ノ位置ニテハ、宿直員ヤ校舎内外ノ警戒ニハ、勿論小使ノ
職員室ニ遠キ為不便下敷ト一面今後校舎ノ増築ヲ
為ス場合支障下敷ト一面、回面、通其ノ位置ヲ変更シ且
ハ構造モ位置ノ変更ニ伴ヒ別紙回面設計仕様書ノ通変更
スルモ、トス

但ニ總工費ハ從前、通ニテ其ノ内容及竣工期限等ハ左記、通

トス

左記

熊川驛小學校々舍附屬家新築

吉棟

水道平家建西銘引鉄板葺建坪十九坪五合
此工費金七十七坪五圓也

内

宿直及小使室十一坪

此工費金七百七十四坪七合

此置六坪

此工費金六百六十四坪七合

廊下六坪五合

此工費金百九坪五合也

以上構造内容工事方法等總て回面設計並仕様書一通ニテ工事

ハ七十五年度ニ於テ竣成セシムルモノトス

昭和二年三月七日提出

西多摩郡市川町市川町組合長森田退藏

西多摩郡市川町市川町小学校附属宿直及小使室並物置

廊下新築工事設計書(変更一分)

一 折行五間半
梁間六間

竜棟

以建坪拾七坪

軒高地盤ヨリ軒桁峠迄拾尺余寸軒先柱直ヨリ鼻隠外面竜尺五寸屋根垂鉛引生子板葺勾配五寸入母屋造り棟下り棟共半月形妻鬼付外部下見板張押縁打内部真壁漆喰上塗板天井畳敷一部拭板及揚板張土間
混泥土叩キ土間トス

但物置内部ハ板羽目屋根裏ハ化粧削リ小屋床素土間トシ

一方ニ柵板取設テ回面一通リ

一 折行五間半
梁間六間

水道平家建校舎渡廊下

竜棟

此建坪 貳坪五合

軒高地上八尺軒柱直真ヨリ軒先迄貳尺外部ヨリ下見板張
押縁打化粧削リ小屋床混疑土四ヤ屋根ニ番亜鉛引平
板其他凡テ前記ニ準ス

右 仕 概

基礎

指定ノ高ヨリ地盤ヲ定メ水盛杭及水貫共取設ケ
布石(混疑土ヲ以テ代用ス)下布塼(深七尺)間内柱下
一尺四方深地山ニ應ジ三尺以上塼下ゲ玉石ニ目潰砂
利ヲ交ヘ入レ人掛大塼ヲ用ヒ突堅ム

塼板

背板類ヲ用_レ深五寸ニ物置間仕切共中柱横差
八寸以上ノ玉石ヲ上下左右共通リ良ク位置ヲ定メ
混疑土ヲ入念ニ打均シ不陸ナク打均シ乾燥見

混疑土

計ニ塼板取除キ布石上端及地上見エ掛リセメント
モルタル_ニヲ以テ定木摺_ニニ塗リ均スベシ
調合セメント一州砂一三州砂利一六

便所

モルタル調合セメント一州砂一以下調合凡テ全断トス
溜床ハ本校舎順ニ周囲ニ打廻シ地盤下深三尺
同上尺五寸程トシ床板張施工上注意シ底部厚
手収部及外面ニ分ハモルタルニ塗リトス掃除口穴共
定木摺_ニニ塗リトシ木製衣蓋取付スベシ

叩床

入口部及渡廊下床四坪及上段下地山砂利
敷トテ二大塼_ニニ大堅メ厚三寸混疑土
打厚四合_ニモルタル_ニ上塗_ニヲ用_レ水捌良ク仕上クヤシ
下ハ砂利入_ニ突メ堅メ横差八寸以上ノ玉石ヨリ突中
堅ムベシ

床束石